

## 項目 1: 化学品及び会社情報

- ・ 化学品の名称
- ・ 化学品の名称 **フェノール (溶融状)**
- ・ 別名/和名:  
carbolic acid, hydroxybenzene, benzenol, monophenol, phenyl hydroxide, phenyl alcohol, phenic acid, phenylic acid, and phenylic alcohol.
- ・ CAS 番号:  
108-95-2
- ・ 推奨用途及び使用上の制限:
- ・ 推奨用途  
化学合成  
次のための原料:  
合成樹脂、染料、医薬品、農薬、潤滑油、溶剤
- ・ 提供者の情報
- ・ 供給者の会社名称,住所及び電話番号  
長春人造樹脂廠株式会社  
104070 台湾台北市松江路301号7F  
電話番号: +886-2-2500-1800  
Fax番号: +886-2-2501-8317  
www.ccpgp.com
- ・ 担当部門: SDS-info@ccp.com.tw
- ・ 緊急連絡電話番号  
3E Global Incident Response Hotline 24h (Access Code: 336088):  
Japan: +81 368908677  
Non-Region Specific: +1 760 476 3971

## 項目 2: 危険有害性の要約

- ・ 化学品のGHS分類
 

急性毒性(経口) 区分3	H301 飲み込むと有毒
急性毒性(経皮) 区分3	H311 皮膚に接触すると有毒
急性毒性(吸入) 区分3	H331 吸入すると有毒
皮膚腐食性/刺激性 区分1B	H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1	H318 重篤な眼の損傷
生殖細胞変異原性 区分2	H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2	H373 腎臓、肝、皮膚そして神経系を長期間または繰り返された露出によって損傷させることがある。
水生環境有害性(急性毒性) 区分3	H402 水生生物に有害
水生環境有害性(慢性毒性) 区分2	H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

- ・ GHSラベル要素 ( 絵表示又はシンボル,注意喚起語,危険有害性情報及び注意書き )
- ・ シンボル



GHS05 GHS06 GHS08 GHS09

- ・ 注意喚起語 危険
- ・ 危険有害性情報  
飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合や吸入した場合は有毒  
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
遺伝性疾患のおそれの疑い  
腎臓、肝、皮膚そして神経系を長期間または繰り返された露出によって損傷させることがある。  
水生生物に有害

(2 ページに続く)

## 化学品の名称 フェノール (溶融状)

(1 ページの続き)

長期継続的影響によって水生生物に毒性

**注意書き**

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

施錠して保管すること。

内容物/容器を現地/地域/国/国際規定に従って処理する。

**GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性**

プロダクトには有機化合物のハロゲン化合物 (AOX)、窒素、重金属化合物およびホルムアルデヒドが含まれていない

**項目 3: 組成及び成分情報****化学物質・混合物の区別: 化学物質****化学名又は一般名**

108-95-2 フェノール (溶融状) >99%

**慣用名又は別名**

**官報公示整理番号 (化審法・安衛法):** 官報公示整理番号 (化審法): 3-481

**項目 4: 応急措置****応急手当処置に関する説明****一般情報:**

直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ取り去ること。

安静と医学的な経過観察が必要。

呼吸防護マスクは汚染衣服を脱いだ後にはずすこと

呼吸停止の時は人工呼吸を施す。

**吸入した場合**

直ちに医師を呼ぶこと。

人工呼吸は人工呼吸用袋もしくは装置を使っておこなう

新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

意識不明の場合には安定させた状態で横向きに寝かせ、移送する。

**皮膚に付着した場合**

ポリエチレングリコール (例えばポリエチレングリコール300) で十分に患部を洗います。

多量の石鹸と水で優しく洗うこと。

医師に処置してもらう

**眼に入った場合**

水で15分間、注意深く洗うこと。

即刻医師の忠告を受ける

**飲み込んだ場合**

吐かせないこと。直ちに医師を呼ぶこと。

十分水を飲み、外気を吸う。速やかに医者を呼ぶ

**急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状**

皮膚と眼に激しい化学火傷を起すことがある。

灼熱感

呼吸困難

頭痛

昏睡

中枢神経系病変

けいれん

気管支炎

粘膜を刺激し

(3 ページに続く)

## 化学品の名称 フェノール (溶融状)

(2 ページの続き)

遅発性症状: 肺水腫、中枢神経系、肝臓、腎臓への影響。  
フェノールが皮膚と粘膜の経路で速やかに吸収され、組織死亡及び器官損害になります。

他の可能な症状:

スパズム

炎症

スロート/気管支浮腫

**応急措置をする者の保護:**

製品が目、皮膚、粘膜に強大な腐蝕作用されます。

速やかに皮膚を浄化洗浄し、システム性の原因で局部性を影響するの損害を防止する。

吸入する場合、できるだけ早くコルチゾン治療を開始することにより肺水腫を予防する。

摂取した場合、胃洗浄は挿管後に行うことができ、続いて活性炭および生理食塩水緩下薬を投与する。

暴露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。

## 項目 5: 火災時の措置

・ **消火剤**

・ **適切な消火剤** 周辺の状況に合わせた消火措置を取る。

・ **使ってはならない消火剤** 情報なし

・ **火災時の特定危険有害性:**

>650°C: 一酸化炭素、水素

>850°C: 水、メタン、エタン、ブタジエン、アセチレン、ベンゼン、縮合芳香族化合物

加熱もしくは火災の際に有毒ガスが発生する

・ **消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**

・ **消火を行う者の保護:**

呼吸保護マスクを着用

酸素ボンベ付き呼吸保護装備を着用

陽圧式自給式呼吸器(SCBA)および防火服(防災ヘルメット、コート、ズボン、長靴および手袋を含む)を着用する。

・ **その他の情報**

皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。

爆発および火災ガスは吸い込まない

汚染された消火水は分けて回収、下水処理場に送り込んではいけません。

## 項目 6: 漏出時の措置

・ **人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 関係者以外の立入りを禁止する。

蒸気/埃/エアロゾルの作用から保護するためにマスクを着用。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

換気の良い場所で作業を行う。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

風上に留まる。

低地から離れる。

・ **環境に対する注意事項**

河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する

環境中に放出してはならない。河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

・ **封じ込め及び浄化の方法及び機材**

乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。

中和剤を使用

13項に従い汚染材は廃棄物として処理する。

十分な換気を心がける。

・ **他のセクションへの言及**

第7項、取扱い注意事項を参照。

追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。

(4 ページに続く)

## 化学品の名称 フェノール (溶融状)

(3 ページの続き)

追加情報として、第13項、廃棄上の注意を参照。

## 項目 7: 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

容器は十分に注意しながら開封し、取り扱う。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

慎重に開いた容器。容器が開いた状態のままさせてはいけません。

## 火災、爆発の防止などの適切な技術的対策:

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

加熱製品は圧力上昇の原因となり、破裂や爆発の危険性があります。

## 保管

## 適切な保管条件:

冷所、換気の良い場所で保管すること。

余裕な通気を提供する。必要な場合に排気システムを採用する。

容器および配管に適した材料: 特殊鋼

## 保存期間:

## 注意事項:

容器は密閉した状態に保つ。

50°C~60°Cで保管してください。

## 保管クラス: Storage class 6.1A (combustible toxic materials)

## 特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

## 項目 8: ばく露防止及び保護措置

## 許容濃度等

## 許容濃度:

108-95-2 フェノール

OEL | 長期値: 19 mg/m<sup>3</sup>, 5 ppm

## 生物学的許容値を持つ原料:

108-95-2 フェノール

OEL-B | 250 mg/g Cr

試料: urine

試料採取時期: End of shift

物質: Phenol

## 設備対策:

空气中濃度が許容濃度以下に保てるよう制御する。

本製品の取扱は空気の循環が良いところに行くことは推奨いたします。

局所排気装置や他の排気装置を使用して、空中濃度が許容濃度や管理濃度より低くなるように管理する。

当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要があります。

## 保護具

## 適切な衛生対策:

化学製品を取り扱う際の一般的な注意事項を厳守のこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ取り去ること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

防護服は別に保管する

眼に入らないように

眼に入れないこと。皮膚との接触を避けること。

(5 ページに続く)

## 化学品の名称 フェノール (溶融状)

(4 ページの続き)

作業後および休憩前には皮膚を十分に洗浄する。  
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

## 呼吸用保護具:

短時間用フィルター装置:

フィルター A/P2

ABEK型フィルター

短時間もしくは負担が小さい場合には呼吸フィルター付装置を、集中的にあるいは長時間触れる場合には、酸素ボンベ付き呼吸保護装備を使用すること

## 手の保護具:

保護手袋は使用する度に問題ないかをチェックすること



保護手袋

選択された保護手袋はEN 374標準のスペック或いは同等標準に準ずべき。  
保護手袋は破損や汚れがある場合、使用しないで下さい。  
手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない。  
浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する。

## 手袋材

ネオプレン製手袋

ポリ塩化ビニール手袋

製造業者又は当局が指定する保護手袋を着用すること。

## 手袋材の浸透時間

スプラッシュ接触:

破過時間: &gt;75分

正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること。

## 眼の保護具:



取り扱いには保護メガネを着用すること。

側方遮蔽のある保護眼鏡。

## 皮膚及び身体の保護具:

取り扱う場合には、皮膚及び身体の保護具 - 通常の作業衣で十分である  
適切な顔面用の保護具、衣類及び防護靴等を着用すること。

## 項目 9: 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理及び化学特性に関する情報

## 一般指示事項

形状:

液体

物理状態

液体

色

無色

臭い

甘い

臭いのしきい(閾)値:

0.022 - 22 mg/m<sup>3</sup>

融点 / 凝固点 (混合物の場合は、記載省略可)

40.8 °C

沸点又は初留点及び沸点範囲

181.8 °C

可燃性

情報なし

爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界

下限:

1.3 Vol %

上限:

9.5 Vol %

引火点

82 °C

分解温度

情報なし

(6 ページに続く)

## 化学品の名称 フェノール (熔融状)

(5 ページの続き)

・ pH (10 g/l) 約 20 °C	4-5
・ 粘性:	
動粘性率	情報なし
力学的 約 50 °C:	3.437 mPas
・ 溶解度 (混合物の場合は,記載省略可)	
水 約 20 °C:	82 g/l
・ n-オクタノール / 水分係数 (log 値) (混合物の場合,記載省略可) 約 30 °C	1.47 log POW
・ 蒸気圧 約 20 °C	0.2 hPa
・ 密度及び / 又は相対密度 約 20 °C	1.06 g/cm <sup>3</sup>
・ 相対ガス密度 約 20 °C	3.2 (Relative; Air=1)
・ 粒子特性	情報なし
・ 自然発火点	595 °C
・ 爆発の危険:	本製品は爆発する危険はない

## 項目 10: 安定性及び反応性

- ・ 反応性  
一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
- ・ 吸湿性
- ・ 化学的安定性 推奨される保管条件下で安定している。
- ・ 熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない。
- ・ 危険有害反応可能性 危険な反応は起きていない
- ・ 避けるべき条件: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 混触危険物質  
酸化剤。  
強酸類。  
イソシアナート  
アルデヒド  
亜硝酸塩  
窒化物  
各種プラスチック  
様々な金属  
ラバー  
Friedel-Craft触媒
- ・ 危険有害な分解生成物 危険な分解プロダクトはない

## 項目 11: 有害性情報

- ・ 毒性学的影響に関する情報
- ・ 急性毒性  
飲み込むと有毒  
吸入すると有毒  
皮膚に接触すると有毒  
飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合や吸入した場合は有毒

## ・ 分類上の LD/LC50 値:

## 108-95-2 フェノール

経口	LD50	282 mg/kg (ラット)
皮膚	LD50	660 mg/kg (ウサギ) (OECD 402)
吸収	LC50/4h	>900 ppm (ラット) (~OECD 403)

## ・ 皮膚腐食性 / 刺激性:

重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷  
ウサギを用いた皮膚刺激試験及びヒトへの健康影響データで、皮膚腐食性が認められた。

(7 ページに続く)

化学品の名称 フェノール (熔融状)

(6 ページの続き)

- ・ **眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性:**  
重篤な眼の損傷  
ウサギ眼に対して腐食性を引き起こす。  
該当製品が嚴重な目損傷 (場合により $\geq 3\%$ ) または目刺激 (場合により $\geq 1\%$ ) になります。
- ・ **呼吸器感作性又は皮膚感作性:** 分類できない
- ・ **生殖細胞変異原性:**  
遺伝性疾患のおそれの疑い  
インビトロでの遺伝毒性(哺乳動物細胞):陽性 (OECD 487)
- ・ **発がん性:** 分類できない
- ・ **生殖毒性:** 分類できない
- ・ **特定標的臓器毒性 (単回ばく露):** 分類できない
- ・ **特定標的臓器毒性 (反復ばく露):**  
腎臓、肝、皮膚そして神経系を長期間または繰り返された露出によって損傷させることがある。  
皮膚  
肝  
腎臓  
影響を受ける臓器:  
神経系
- ・ **吸引性呼吸器有害性:** 分類できない
- ・ **主要刺激作用:**
- ・ **皮膚腐食性 / 刺激性** 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・ **眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性** 重篤な眼の損傷
- ・ **呼吸器感作性又は皮膚感作性** 感作作用はない
- ・ **誤えん有害性** 情報なし

**項目 12: 環境影響情報**

- ・ **生態毒性**
- ・ **水生環境毒性:**  
水生生物に有害  
長期継続的影響によって水生生物に毒性

**108-95-2 フェノール**

EC50/48h	20 mg/l (ミジンコ属)
EC50/96h	61.1 mg/l (藻類)
EC10	0.46 mg/l (ミジンコ属) (16d; NEN-ISO 6502)
LC50/96h	24.9 mg/l (魚類) (25 °C; USEPA)
NOEC	0.077 mg/l (魚類) (60d; OECD 204)
IC50 (静力学的)	21 mg/l (微生物) (24hr; EPA/600/4-89/001)

- ・ **残留性・ 分解性**
  - 成分データ:フェノール (CAS番号:108-95-2)
  - 分解率:62% (100時間; OECD 301C)
  - 水中での生分解:容易に生分解可能
  - 活性汚泥(嫌気):80.1% (100d, OECD N/A; ECETOC)
  - 水r: 86-96% (20d; APHA's BOD-test)
  - 非生分解性:
  - OH基間接光降解-大気中の半衰期 (DT50):~14d
- ・ **成分:** アバライバル 関連データなし
- ・ **生体蓄積性**
  - 成分データ:フェノール (CAS番号:108-95-2)
  - 生物濃縮係数 (BCF):17.5
  - 生体内蓄積の可能性は低い。
  - n-オクタノール/水分配係数(log Pow):1.47 @ 30°C

(8 ページに続く)

## 化学品の名称 フェノール (溶融状)

(7 ページの続き)

## ・ 土壌中の移動性

- ・成分データ:フェノール (CAS番号:108-95-2)
- 分配係数、有機炭素/水 (Koc):82.8 L / kg@20°C
- ヘンリーの法則定数 (H):0.022Pam<sup>3</sup>/ mol@20°C
- モビリティクラス:高度なモバイル (Koc 50~150、McCall et al. の分類スキーム)
- 分布モデリング (モデル:マツカイ、レベルI):
- メディアでの分布率:
- 空気:0.8%
- 水:98.8%
- 土壌:0.2%
- 堆積物:0.2%
- 懸濁堆積物:<0.1%
- 生物相:<0.1%

## ・ オゾン層への有害性 情報なし

## ・ 他の副作用

- ・注: 魚類に対して毒性が高い
- ・その他のエコロジーに関する注意事項:
- ・一般注意事項:
- 地下水、河川あるいは下水設備に流してはならない。
- 希薄せずあるいは中和せずに、廃水もしくは導水路に流してはならない
- 地下に少量流れ込んでも飲料水を汚染する。
- 水域においては魚やプランクトンにも毒性がある
- 水生生物にとり毒性が高い

## 項目 13: 廃棄上の注意

- ・ 化学品 ( 残余廃棄物 ) , 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
- ・ 勧告:
- 特殊廃棄物規定に注意しながら、事前処理を行った後に許可された特殊廃棄物焼却設備に送り込む。
- 特殊廃棄物回収業者に引き渡すか、危険物質集積所に持ち込む
- 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない。
- 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
- 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

## ・ 汚染容器及び包装

- ・ 勧告:
- 洗浄できないパッケージはプロダクトと同様の方法で処分する
- 汚染されていないパッケージはリサイクルに持ち込める
- 関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 項目 14: 輸送上の注意

- ・ 国連番号
- ・ ADR, IMDG, IATA UN2312
- ・ 品名 ( 国連輸送名 )
- ・ ADR, IMDG, IATA PHENOL, MOLTEN

(9 ページに続く)

化学品の名称 フェノール (熔融状)

(8 ページの続き)

・ 国連分類 ( 輸送における危険有害性クラス )

・ ADR, IMDG



- ・ 分類 6.1 毒性成分
- ・ 危険物ラベル 6.1

・ IATA



- ・ Class 6.1 毒性成分
- ・ Label 6.1
- ・ 容器等級 II
- ・ ADR, IMDG, IATA II
- ・ 環境危険: 該当する
- ・ 海洋汚染物質 シンボル (魚やツリー)
- ・ 特別マーキング (ADR): シンボル (魚やツリー)
- ・ ユーザー用特別予防措置 警告: 毒性成分
- ・ ケムラー符号: 60
- ・ EMS (電子メールサービスナンバー) 番号: F-A,S-A
- ・ Stowage Category B
- ・ Stowage Code SW2 Clear of living quarters.
- ・ 輸送/その他の説明:

・ ADR

- ・ Excepted quantities (EQ) Code: E0  
Not permitted as Excepted Quantity
- ・ 運輸类别 0
- ・ 隧道限制码 D/E

・ IMDG

- ・ Limited quantities (LQ) 0
- ・ Excepted quantities (EQ) Code: E0  
Not permitted as Excepted Quantity
- ・ UN "模範規制: UN 2312 PHENOL, MOLTEN, 6.1, II, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS
- ・ 国内規制 国の特定の法規制は、項目 15を参照する。

**項目 15: 適用法令**

・ 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

- ・ 労働安全衛生法(安衛法)
- ・ 名称等を表示すべき危険物及び有害物 ( 法第57条、施行令第18条別表第9 )  
CAS No. 108-95-2 フェノール (0.1重量% 以上含有する製剤その他の物)
- ・ 名称等を通知すべき危険物及び有害物 ( 法第57条の2、施行令第18条の2別表第9 )  
CAS No. 108-95-2 フェノール (0.1重量% 以上含有する製剤その他の物)
- ・ 特定化学物質 CAS No. 108-95-2 フェノール 第三類物質 ( >5重量% 含有する製剤その他の物)

(10 ページに続く)



安全データシート  
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.25

改訂日: 2023.04.25

化学品の名称 フェノール (溶融状)

(9 ページの続き)

・ 化学物質排出把握管理促進法(化管法, PRTR法)

・ 第一種指定化学物質 (1 質量%以上を含有する製品 / 2023年4月1日以降のSDS提供)

108-95-2	フェノール
----------	-------

・ 毒物及び劇物取締法

・ 劇物

108-95-2	フェノール
----------	-------

・ その他の法令

・ 化審法

・ 既存化学物質

108-95-2	フェノール	3-481
----------	-------	-------

・ 監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質

108-95-2	フェノール	旧第二種監視化学物質
----------	-------	------------

・ 優先評価化学物質

108-95-2	フェノール
----------	-------

・ 化学物質安全性点検結果(分解性・蓄積性)

108-95-2	フェノール
----------	-------

・ 労働基準法 (疾病化学物質): CAS No. 108-95-2 フェノール

・ 消防法: 指定可燃物 可燃性固体

・ 大気汚染防止法: CAS No. 108-95-2 フェノール: 有害大気汚染物質、指定物質、揮発性有機化合物

・ 海洋汚染防止法: CAS No. 108-95-2 フェノール: 有害液体物質 Y類

・ 航空法: 分類 6.1: 毒物類 毒物

・ 船舶安全法: 分類 6.1: 毒物類 毒物

・ 水質汚染防止法: CAS No. 108-95-2 フェノール: 指定物質、生活環境項目

項目 16: その他の情報

・ 縮約と二文字語:

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

LC50: Lethal concentration, 50 percent

LD50: Lethal dose, 50 percent

急性毒性(経口) 区分3: Acute toxicity – Category 3

皮膚腐食性/刺激性 区分1B: Skin corrosion/irritation – Category 1B

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1: Serious eye damage/eye irritation – Category 1

生殖細胞変異原性 区分2: Germ cell mutagenicity – Category 2

特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2: Specific target organ toxicity (repeated exposure) – Category 2

水生環境有害性(急性毒性) 区分3: Hazardous to the aquatic environment - acute aquatic hazard – Category 3

水生環境有害性(慢性毒性) 区分2: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 2

・ 資料

外部の安全データシート

欧州化学品庁 (ECHA) のウェブページ: 登録物質の公開情報/普及データベース。

[http://apps.echa.europa.eu/registered/data/dossiers/DISS-9d87b5ae-c1a2-150b-e044-00144f67d249/DISS-9d87b5ae-c1a2-150b-e044-00144f67d249\\_DISS-9d87b5ae-c1a2-150b-e044-00144f67d249.html](http://apps.echa.europa.eu/registered/data/dossiers/DISS-9d87b5ae-c1a2-150b-e044-00144f67d249/DISS-9d87b5ae-c1a2-150b-e044-00144f67d249_DISS-9d87b5ae-c1a2-150b-e044-00144f67d249.html)

・ 免責条項:

CCPグループは、使用者/顧客/受取人全てに本安全データシート (SDS)を注意深く検討し、本製品と関連する全データや可能性のある全ての危険を理解することを推奨します。必要に応じて、適切な専門家にご相談ください。当情報は発行日に誠意を持って提供され、正確性を確信しています。また、明示または黙

(11 ページに続く)



安全データシート  
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2023.04.25

改訂日: 2023.04.25

---

化学品の名称 フェノール (溶融状)

---

(10 ページの続き)

示を問わず、保証を提供していません。本製品の使用において、規制上の要件は各レベルで異なるため、現地/地域/州/県及び(または)国家の法律順守の保証は顧客/使用者の責任となります。また、実際の操作や使用状況はCCPグループの管理を超えるため、本製品を安全に使用するために求められる必要な措置の決定も顧客/使用者の責任です。CCPグループは、CCPグループ以外から入手されたSDSに対して責任を負いません。お持ちのSDSが最新のものであるか、またはその他出所から入手したSDSかわからない場合、最新バージョンを入手するために当社にお問い合わせください。

— JP —